

# ◆デマンド型交通稼働状況報告◆

平成31年2月18日～3月18日

## ★男女別登録者及び利用者数

	単位	登録者	利用者(実人数)
男性	人	2,882	37
女性	〃	3,581	107
合計	〃	6,463	144

## 登録者の年齢別



90歳代～	107
80歳代	1395
70歳代	2625
60歳代	715
50歳代	444
40歳代	429
～30歳代	748

## ★利用状況

予約件数 318件 , 1日平均予約件数 約11件

### 曜日別利用件数

月	58
火	53
水	51
木	59
金	39
土	40
日	18

### 行先別乗降回数

医療施設	209
地域内	164
商業施設等	86
交通結節点	73
公共施設	67

### 【分析】

地区3運行開始から1か月のみの利用状況ですが、利用者の大半は高齢者であることが分かります。そして平日の朝に通院に利用する方が多いということも分かります。今後更に利用データを蓄積・分析すること、アンケート実施も行い、より利便性の高い提案をまいります。

### 時間帯別利用件数

8時台	35
9時台	54
10時台	39
11時台	22
12時台	42
13時台	38
14時台	26
15時台	13
16時台	32

## 皆様の声がかたきになりました!



JR川越線沿いの柵が劣化しており、子供が簡単にはいれる危険な状態でした。

## 栗原みつはる プロフィール

昭和46年6月9日川越市岸町生まれ(48歳)、南古谷並木在住、5歳と3歳の娘の父

ひつじ幼稚園、仙波小学校、砂中学校卒業	2017年1月	川越市議会議員に初当選
1990年3月 城北埼玉高等学校卒業	2017年9月	MKコンシスト(株)設立 取締役
1994年3月 立教大学経済学部経営学科卒業		デイサービスリーディング岸町運営(川越市)
1994年4月 カナダへ2年間語学留学	2019年4月	川越市議会議員選挙当選(2期目)
2001年5月 ワタミフードサービス(株)入社		文化教育常任委員会副委員長、土地開発公社理事
営業部長まで務め経営・サービス業を学ぶ		議会運営委員会、政務活動費経理責任者、医療問題協議会
2012年9月 ワタミの介護(株)へ転職		所属団体:川越商業経営研究会、川越葵ライオンズクラブ
有料老人ホーム エリアマネージャー		川越立教会、川越商工会議所青年部
2014年12月 SKYケアサービス(株)設立 取締役		岸町囃子連、南古谷歌謡サークル
2015年4月 川越市議会議員選挙に挑戦し、次点惜敗		

ご意見・ご感想・皆様の声をお聞かせください!

南古谷事務所 〒350-0023 川越市並木77-8 携帯:090-6509-2419、電話:049-235-8425  
岸町事務所 〒350-1131 川越市岸町1-25-18 電話:049-247-7701

2019年7月発行

川越市議会議員(自由民主党川越市議団)

# 栗原みつはる議会報告

～「介護・福祉の未来」を創る～ Vol.10



## 川越駅西口周辺のバス事情について【一般質問】

朝の川越駅西口周辺では、通学の子ども達が元気に挨拶をしてくれて心が温まる思いを感じる一方で、現在は路線バス以外の通勤通学等の送迎バスのすべてが道路上で乗降を行っており、最近の大津市で保育園児の列に車が突っ込み、園児が亡くなられた事故や登戸の無差別殺傷事件、高齢者の事故などの痛ましいニュースを見ますと、歩道上で多くの児童生徒や会社員の方々がバスに乗るために並んでいることに不安を感じたことから今回の質問を行いました。



左図をご覧ください。

以前は、川越駅西口市有地内に送迎バス乗降場及び自転車駐輪場がありました。

しかし、川越駅西口市有地活用事業により平成30年6月から市有地の使用ができなくなりました。バス乗降場についてはすべて既存道路上に乗降場を移転、自転車駐輪場については仮設自転車駐輪場を設置して対応しております。

川越駅西口市有地活用事業とは、市有地を借地した事業実施者が民間施設を整備するとともに、市がその施設内の一部を借り受け行政機能を運営する官民連携事業です。

右図が完成イメージです。

上階にはホテル、事務所、行政機能、飲食店などが入った施設が2020年4月にオープン予定で現在工事中です。併せて、現在西口デッキの施設までの延伸工事も進められています。



このような状況の中で、私が現在一番問題と感じていることが送迎バスの問題です。送迎バスについては、現在すべての送迎バスが道路上で乗降を行っており、西口市有地活用事業完成後も以前のような送迎バス乗降場整備の予定がありません。

現在川越駅西口周辺の通学通勤時間帯は、多くの路線バスや送迎バス、観光バスが入り乱れ、通学の児童生徒や通勤の会社員などで混雑しており、バスの横をギリギリで通る車、横断歩道のない場所を横断する歩行者が車と接触しそうになったりと、ヒヤッとする危険な場面も見かけます。

西口市有地活用事業により送迎バスの仮設バス乗降場が使用できなくなり、乗降場が

すべて道路上になったことで、人や車の導線が複雑になり、以前にも増して混雑し、危険な場面が多くなりました。

そうしたことを踏まえ、川越駅西口周辺のバス事情の実態から質問を通して提言を行いました。

Q：川越駅西口周辺の路線バス、送迎バス等の現在の状況は？

A：路線バスは、駅前広場の8つの乗降場を使用して、西武バスの路線をはじめ、イーグルバスの小江戸巡回バス、川越シャトルが運行しており、平日に1日約600便が発着しております。

送迎バスは、川越駅西口周辺で企業や学校など送迎バスを運行する業者と観光バスを運行する事業者で「川越送迎バス協議会」を組織しており、都市計画道路川越駅南大塚線や川越所沢線の7つの乗降場を使用して、平日に1日平均約550便が発着しております。

送迎バスの利用者数は、川越送迎バス協議会の時刻表の便数や大型バス、マイクロバスなどの車種などからの推定で、平日の1日で1万人～1万3,000人です。

また、ピーク時の人数は、午前7時台が約2,700人、午前8時台が約1,500人です。

Q：川越送迎バス協議会の会員数と利用している学校や企業などのユーザー数は？

送迎バスの発着が多い企業や学校はどれくらいの便数なのか？

A：川越送迎バス協議会の会員については、送迎バスを運行している事業者36社と観光バスを運行している事業者18社の合計54社です。

川越送迎バス協議会が作成した平成31年4月の時刻表によると、平日に便数の多い方から、市内の学校が1日77便、68便と続き、次に市外の学校が56便、次いで企業の協同組合が35便となっております。

Q：バス協議会に加盟していない観光、通勤、通学などの送迎バスはどの程度発着しているのか？

また、どこで発着しているのか？

A：昨年行った実態調査の結果では、朝7時から9時までの2時間の間に乗降又は駐車しているバスが、昨年2月には12台、10月には14台を確認しております。発着場所については、ウェスタ川越西側の川越駅南大塚線や、市道1515号線など駅に近い細街路です。



### 現在の送迎バス乗降場(A～G)

\* 駅前①～⑧は、路線バス・高速バス乗降場

市有地にあった仮設バス乗降場は、平成24年の西口駅前広場改修の際に、送迎バスの仮設乗降場として整備し、送迎バスの台数は7年前の設置当初の平日1日約480便から約550便に増加しております。送迎バスの増加原因が、学校や企業が増えたからなのか、仮設乗降場が整備されたために、それまで路上で乗降していた事業者が使用するようになったのかは不明ですが、平日1日550便もの送迎バス、1万人以上の利用者がすべて路上に出てきたことは周辺に対して大きな影響があると感じます。



さらに、現在の道路上の送迎バス乗降場も、西口市有地活用事業完成までの暫定的なものです。今後現在の乗降場が、もし使用できなくなるようなことがあれば通学通勤の児童生徒や会社員にとって非常に大きな問題です。

Q：川越駅西口市有地活用事業完成後は、送迎バスの乗降場はどのようになるのか？

現在の送迎バスの乗降場が利用できなくなることはあるのか？

A：市有地前の川越駅南大塚線に切り込む形で三か所乗降場を設置できるよう、関係機関と協議を進めているところです。他の場所についても、関係部署と協議しながら検討を進めており、現在の乗降場の数が、市有地の工事終了後、使用できなくなるわけではありません。

このように現在でも多くの送迎バス、観光バスなどが運行している状況です。

さらに今後のバスの増加要因として、西口市有地ホテル完成後の団体宿泊客の観光バス、そして増形地区の産業団地が整備され企業が入ることで、更に増形産業団地への送迎バスが増加するのではないかと懸念しております。

Q：西口市有地ホテル完成後の宿泊観光バス、及び増形産業団地完成後の送迎バス等の動向についての見通しは？

A：市有地には大型バスの駐車場は予定されておらず、施設前での乗降が想定されますが、現在のところ事業者からは、具体的な計画は示されておらず、増形産業団地については、立地する企業が未定のため送迎バスについても未定です。



\* 増形地区産業団地/川越市大字増形ほか地内の約17ha。県と共同で令和元年度までの2か年継続事業として整備中。

## ここで提言！ 先手先手で将来を見据えた対策を！

今後、ホテル開業や増形産業団地が整備されるなど、観光バス・送迎バス等がますます増加することは、容易に予想されることであり、ともに完成して状況を見てから対策を協議するのではなく、人が集まる以上、そうした点を見通して先手先手で手を打っていくことが必要ではないか。

Q：今後川越駅西口周辺の送迎バスについて中長期的な視点で対策を講じるべきと考えるが、市の考えは？

A：市としましては、現在の西口におけるバス乗降場の利用を含め、川越送迎バス協議会とバス乗降場のあり方について引き続き協議を行ってまいりたいと考えております。

具体的な答弁はもらえませんが、川越駅西口周辺のバスの問題は非常に大きな問題と捉えており、今後も継続してこの問題に取り組んでまいります。